

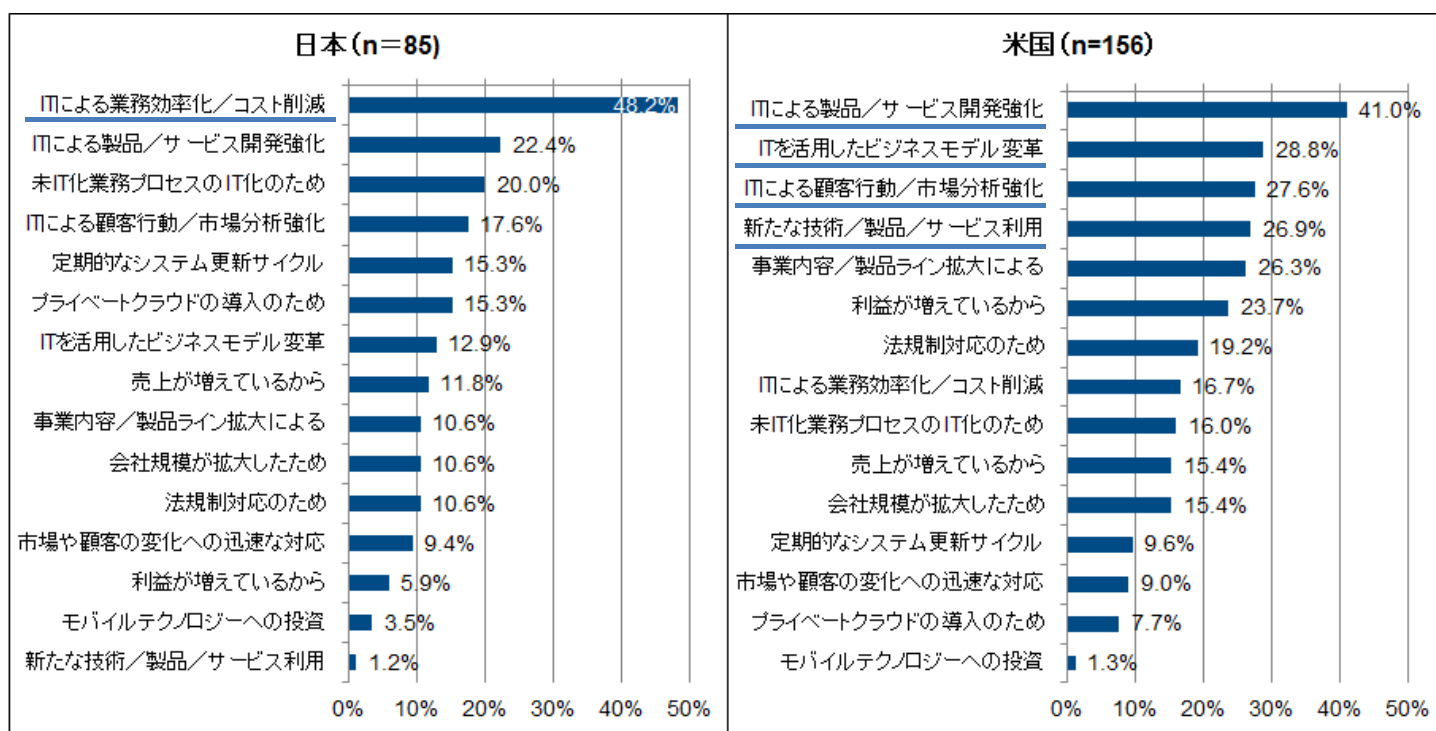
ITマネジメント・ニュースレター

Vol. 2

ニュースレターVol.1でも取り上げた、電子情報技術産業協会(JEITA)／IDCジャパン株式会社による「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」。

日本と米国で、ITに何を期待するのか、も調査されています。

ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析 ITに対する期待(IT予算が増える理由)



出典: JEITA/IDC Japan

日本は「業務効率化、コスト削減」がトップ、米国は「製品・サービス開発」や「ビジネスモデル変革」と攻めの姿勢が顕著

日本企業は「ITによる業務効率化/コスト削減」が二位の倍以上という圧倒的一位、米国は「製品やサービス開発強化」がトップ、これに「ビジネスモデル変革」が続きました。米国の方が、売上拡大のためにITを使おう、という意識が高いようです。

日本でも米国と同じテクノロジーを使えるのに、なぜ同じ目的を目指していないのか。日本の経営者は「効率化」に興味があって、製品・サービス開発やビジネスモデル変革には興味弱いのか？そんなことはないでしょう。ITを使ってビジネスの改革をする、そういう考え方ができるかどうかで、競争上大きな差が出てくるかもしれません。